

## 新たな伝統づくりに向けて

～ 人を育て、社会を育て、未来を育てる学校をめざして ～

秦野高等学校長 神戸秀巳



平成 26 年に第 29 代校長として着任してから、3 年目となりました。創立 90 年（草創 130 年）を迎えた神奈川県内有数の伝統を誇る進学校の校長として、大変な栄誉であるとともに、その責任の重さを感じています。

これまで教職員とともに進めてきた積極果敢な教育活動をさらに進めます。『国家百年の計は教育にあり』を念頭に置いて、「未来を担い支える人間」すなわち「何をすべきかを自らの頭で考え、心で感じ、自らの責任で判断し、自分の言葉で表現し、積極果敢に挑戦し、自ら人生を切り拓

いていく人間」の育成に本気で取り組んでまいります。

今年度、教育長より新たに示された「秦野高等学校のミッション（めざす姿）」の中に、『これまで、開校以来の「文武両道」「質実剛健」の伝統を継承し、「知・徳・体」を兼ね備えた人材の育成に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力に向けた教育活動の充実に取り組む。』とあります。

「新たな伝統」づくりに向けて、今年度、校長として次のことを宣言しました。これからも、積極果敢な教育活動を着実に実践するため、教職員一同「チーム秦野」として一丸となって、「ミッション」「夢」「ビジョン」「戦略」「戦術」の共有に努めます。そして、地域との連携を一層強化し、未来を見据えた「県立学校づくり」に励んでまいります。

### 【「教育活動」の柱】

- 1 文武両道 本気で「二兎を追う」教育の追求
- 2 凡事徹底 あたりまえのことがあたりまえにできる人間の育成
- 3 地域貢献 地域との連携を強化した地域の教育力向上と地域活性化への貢献

### 【「学校経営」の方針】

キーワード 『前のめり』（ものごとへの積極的な取り組み）

- 1 できることは何でもやる学校
- 2 調子に乗っている学校
- 3 動きの見える学校

顧客満足度の向上

- ・ 県立高校にとっての顧客とは？
- ・ 顧客は何を望んでいるのか？

### 【校長としての「めざす姿」】

テーマ 『殻（から）を破る』

実現に向けたキーワード

- 1 「全国から秦野へ」「秦野から全国へ」そして「世界へ」  
これまで築いてきた「全国ネットワーク」を強化し、さらなる活用を図る
- 2 初志貫徹  
最初に抱いた志を貫き、へこたれず、諦めず、最後まで頑張り抜いて実現させる
- 3 「不易（ふえき）」と「流行（りゅうこう）」  
時代の流れにより変えなければならない「流行」を踏まえつつ、「豊かな人間性」や「人を思いやる心」のように、時代の流れに関係なく変えてはいけないものを守り通す矜持（きょうじ）を保つ 信念と志をしっかりと持つ

今後とも、秦野高等学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします